E-tube Project

Operating Manual

目次

はじめに....3
各部の名称....4
E-tube Project について....5
アプリケーション仕様....6
SM-PCE1 のドライバインストール....7
SM-PCE1 の接続方法....8
　通常の接続の場合....8
　ターミナル部に空きがない場合....9
　ユニットを単体で接続する場合....10
アプリケーションの起動と終了....10
　起動....10
　終了....11
アプリケーションの操作画面について....12
　トップ画面....12
　メニューバー....13
　操作ウィザードウィンドウ....16
　自転車ウィンドウ....17
　ログウィンドウ....19
カスタマイズ....20
　シフトスイッチ機能設定....21
　リアディレイラーアジャスト設定....22
故障診断....23
　故障診断の流れ....23
ファームウェアアップデート....28
　ファームウェアアップデートが失敗した場合....30
　ファームウェアアップデート回数の上限....31
初期ファームウェア書込み....32
このドキュメントについて....34
登録商標および商標について....34

はじめに

この操作説明書では、E-tube Project の操作方法について記載しています。

機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に本書を最後までお読みください。

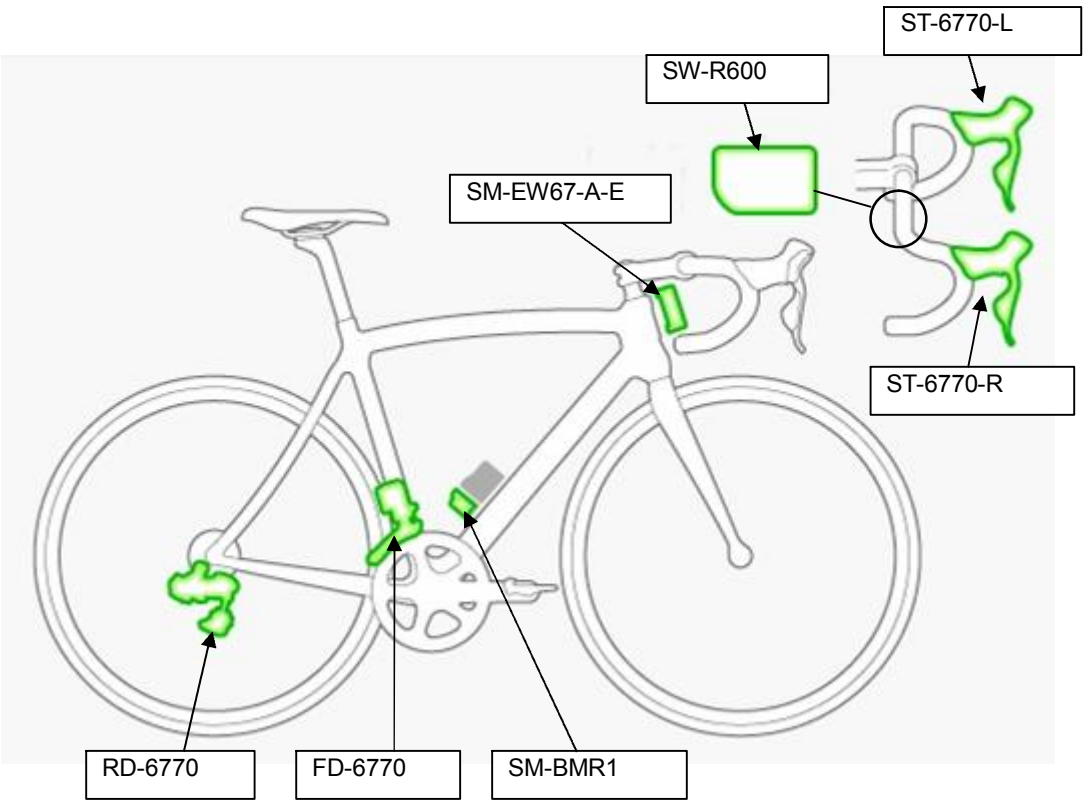
⚠注意

- ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックした後、バッテリーおよびユニットの接続や取り外しは絶対に行わないでください。SM-PCE1 および各ユニットが故障する可能性があります。
- ファームウェアファイルの中身やファイル名などの変更は絶対に行わないでください。ファームウェアアップデートを行うことができなくなったり、ファームウェアアップデートを行った後にそのユニットが故障してしまう可能性があります。

■ 使用上の注意

- SM-PCE1 を PC と接続するときは、USB ハブなどを経由させず、PC 本体の USB ポートに接続してください。
- ファームウェアアップデート中などに PC がスタンバイ状態にならないようにしてください。
  PC がスタンバイ状態になると、E-tube Project の処理は中断され、トップ画面に戻ります。
- 初期ファームウェア書込みを行う場合、ユニットを単体で SM-PCE1 に接続してください。
- バッテリーを接続した状態で、ユニット認識後、トップ画面に戻った場合、一度バッテリーの抜き差しを行ってください。
- 調整および変速に関係する操作はクランクを回しながら行ってください。
- エレクトリックワイヤーの取付けと取り外しは専用工具 TL-EW02 をご使用ください。

各部の名称



E-tube Project について

E-tube Project は各ユニットのメンテナンスや故障診断を行うアプリケーションです。

主な機能は以下のとおりです。

機能	内容
カスタマイズ	変速システムのカスタマイズを行うための機能です。 **■ シフトスイッチ機能設定** ST-6770、SW-R600 のシフトスイッチ機能を切替える機能です。 **■ リアディレイラーアジャスト設定** リアディレイラーの変速調整をする機能です。
故障診断	1 台もしくは複数台のユニットを接続し、それらの動作確認を行い、故障しているユニットを特定する機能です。 ただし、全ての故障を発見できるわけではありません。また、発見した故障を修復する機能はありません。
ファームウェアアップデート	各ユニットのファームウェアを任意のバージョンにアップデートする機能です。 （ファームウェアはインターネット経由でダウンロードします。）
初期ファームウェア書込み	ファームウェアアップデート中に誤って USB ケーブルおよびエレクトリックワイヤーを抜いてしまった場合など、ユニット内に書き込まれているファームウェアが壊れてしまい、正常に動作しなくなります。その状態のユニットに対してファームウェアを書き込み、復帰させることができる機能です。

アプリケーション仕様

E-tube Project を使用するには以下の環境が必要です。

項目	内容
対応 OS	Windows XP 32bit/64bit（SP3 以上） Windows Vista 32bit/64bit Windows 7 32bit/64bit
必須コンポーネント	.NET Framework 3.5[1]
ハードウェアその他	USB 1.1/2.0 インターネットに接続できる環境 ディスプレイ解像度は XGA（1024×768 ドット）以上
対応言語	・英語　・スペイン語 ・フランス語　・イタリア語 ・ドイツ語　・中国語 ・オランダ語　・日本語

＊　言語は 14 ページの「アプリケーション設定」から変更可能です。

1 .NET Framework 3.0 や.NET Framework4.0 では正しく動作しません

SM-PCE1 のドライバインストール

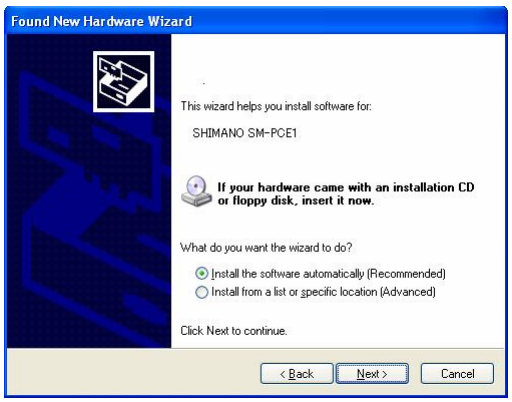
SM-PCE1 を PC に接続して使用するために、SM-PCE1 のドライバをインストールしてください。

E-tube Project のインストール完了後、SM-PCE1 と PC を USB ケーブルで接続すると、自動的にウィザード画面が表示されます。

「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択して、「次へ」をクリックします。

* ご使用環境により、ソフトウェアを検索するために、Windows Update に接続を求められる場合がありますが、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。

ここでは、Windows XP の英語画面例を使用しています。



新しいハードウェアの検索ウィザードの完了が表示されると、SM-PCE1 の使用準備完了です。

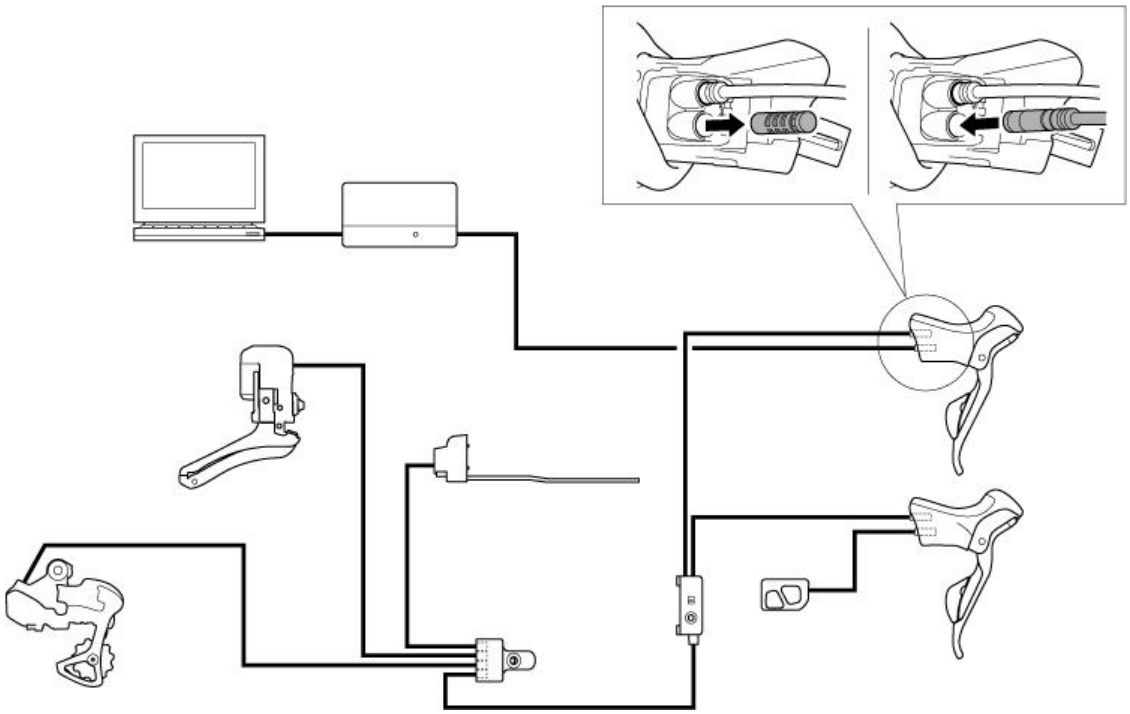
* ご使用環境により、PC を再起動する必要があります。

SM-PCE1 の接続方法

SM-PCE1 を PC と接続するときは、USB ハブなどを経由させず、PC 本体の USB ポートに接続してください。

通常の接続の場合

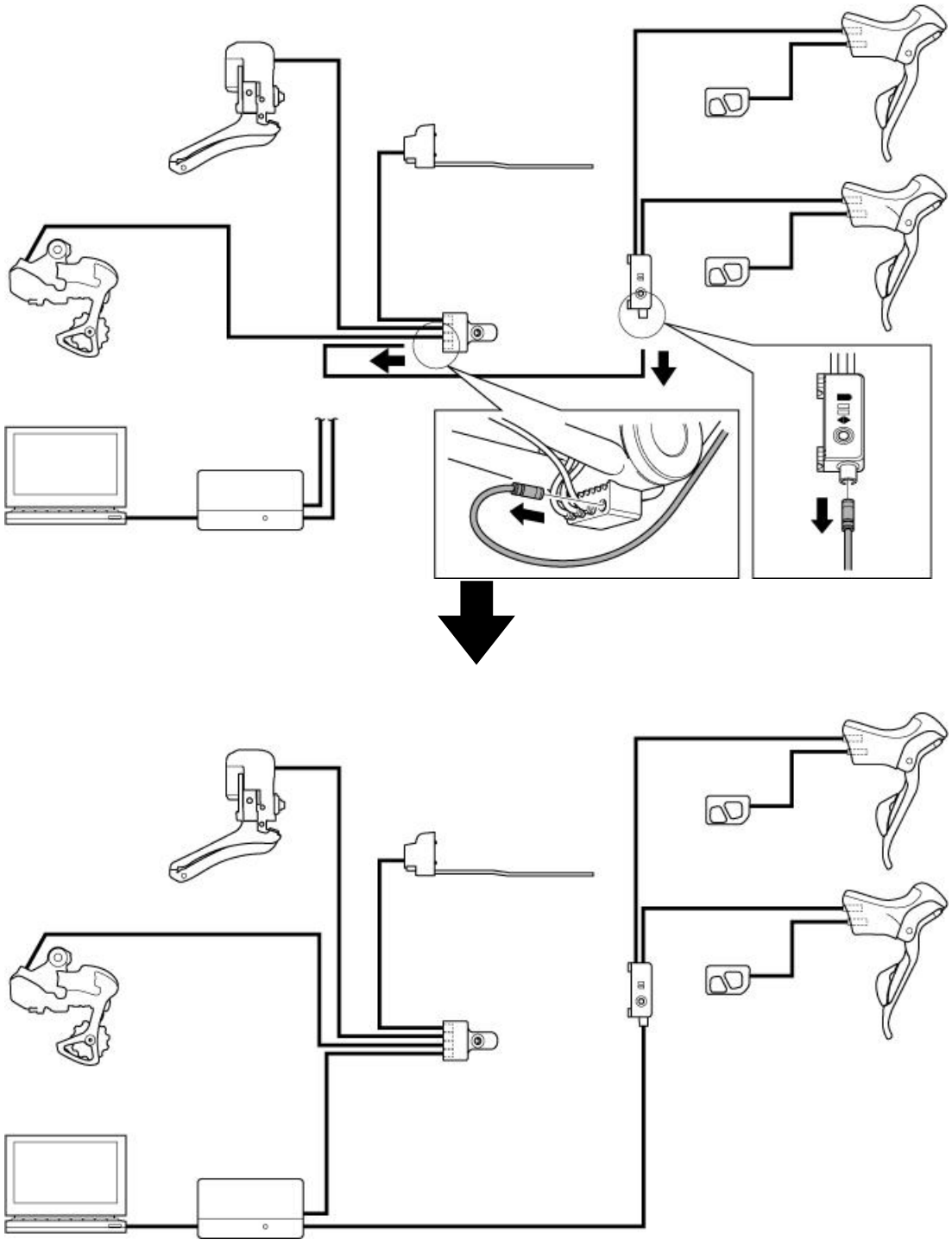
任意の未使用ターミナル部に接続してください。



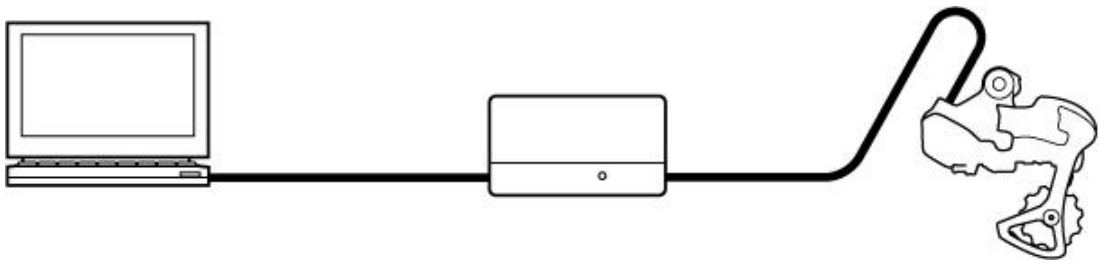
ターミナル部に空きがない場合

SM-JC40 からケーブルを一本取り外し、その部分に SM-PCE1 を割り込ませるようにして接続してください。

* エレクトリックワイヤー内蔵タイプ（SM-JC41）の場合、任意の ST-6770 から SW-R600 を取り外し、その部分に SM-PCE1 を接続してください。取り外した SW-R600 は別途接続が必要です。



ユニットを単体で接続する場合



アプリケーションの起動と終了

起動

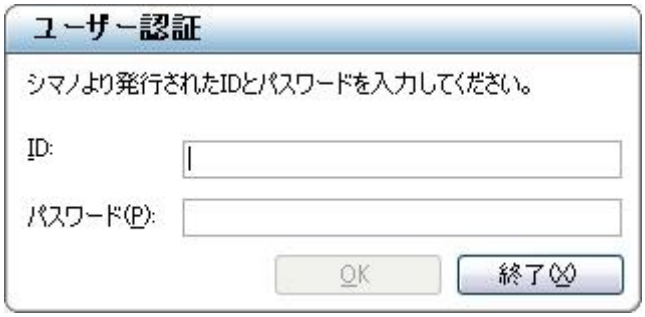
E-tube Project をインストール後、デスクトップに生成された E-tube Project のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。

PC がインターネットに接続されている場合、起動時に最新のファームウェアと最新のアプリケーションのアップデート情報の有無をチェックします。

ユーザー認証

E-tube Project は、インストールした後の初回起動時に、ユーザーID とパスワードの入力を求められます。

SM-PCE1 の取扱説明書に記載されているユーザーID とパスワードを入力してください。



起動条件

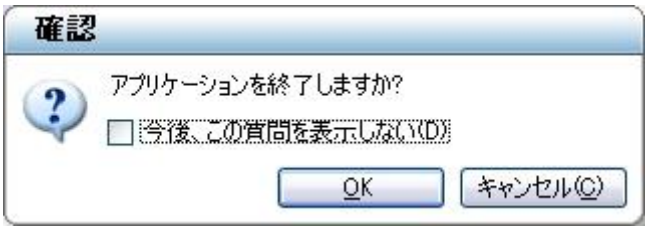
E-tube Project を使用するには、SM-PCE1 が PC に接続されている必要があります。

「接続要求」ダイアログが表示された場合、SM-PCE1 と PC を USB ケーブルで接続してください。

終了

メニューバーの「ファイル」から「終了」をクリックしてください。あるいは右上部にある閉じるボタンをクリックしてください。

「終了確認」ダイアログが表示され、「OK」をクリックすると E-tube Project が終了します。



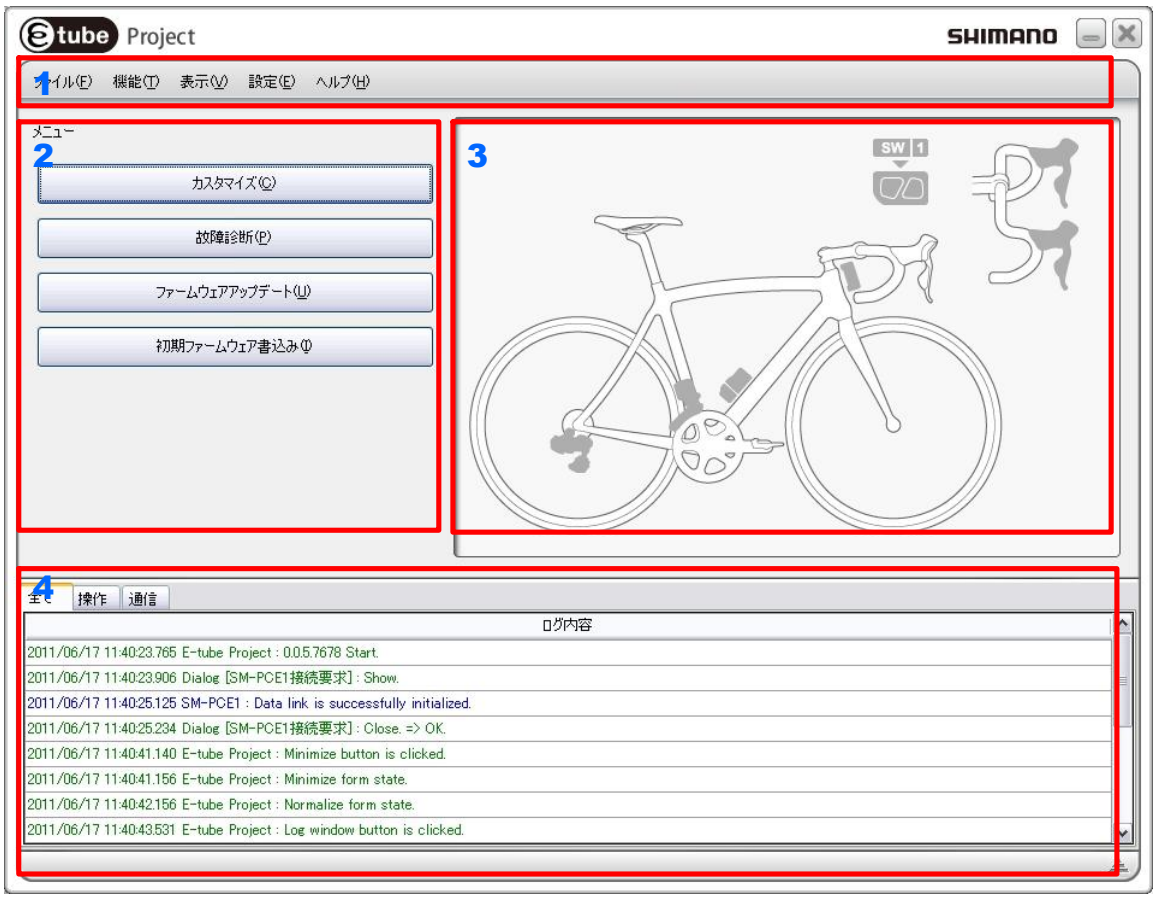
* ファームウェアアップデート中は E-tube Project を終了することができません。

アプリケーションの操作画面について

トップ画面

E-tube Project を起動するとトップ画面が表示されます。トップ画面は以下の 1～4 で構成されます。

1. メニューバー
2. 操作ウィザードウィンドウ
3. 自転車ウィンドウ
4. ログウィンドウ [2]



（トップ画面）

2 E-tube Project 起動直後は表示されません

メニューバー

アプリケーションの各種操作を行います。

ファイル

■ 操作ログの保存

ログウィンドウのログ情報を保存します。

「ファイル保存」ダイアログで、保存先とファイル名を指定し「保存」ボタンをクリックしてください。

■ 終了

E-tube Project を終了します。

機能

■ ファームウェアダウンロード

最新ファームウェアのダウンロードを行います。

インターネット経由で最新ファームウェアー覧を取得し、「ファームウェア選択」ダイアログが表示されます。

画面の指示に従い最新ファームウェアをダウンロードしてください。

* ファームウェアダウンロードは、インターネットに接続した状態で行ってください。
  インターネット接続が無い環境の場合は警告メッセージが表示され、ファームウェアダウンロードを終了します。

* ダウンロード可能なファームウェアが存在しない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

ダウンロードしたファームウェアファイルは下記のフォルダに格納します。

これらのフォルダはアプリケーションインストール時に自動的に作成されます。

バージョン	保存先
Windows XP	My Documents¥E-tube Project¥FW
Windows Vista	Documents¥E-tube Project¥FW
Windows 7	Documents¥E-tube Project¥FW

* **ファームウェアファイルの中身やファイル名などの変更は絶対に行わないでください。ファームウェアアップデートを行うことができなくなったり、ファームウェアアップデートを行った後にそのユニットが故障してしまう可能性があります。**

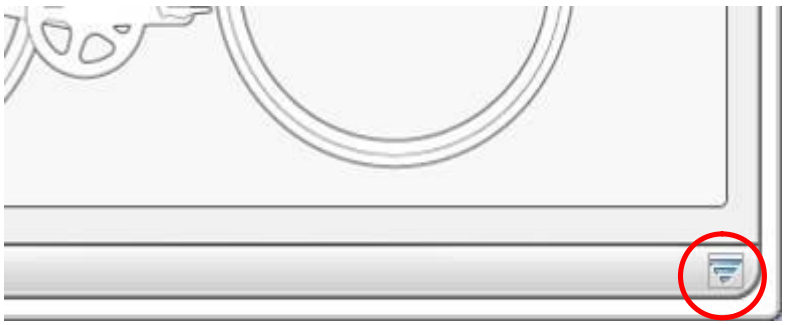
表示

■ ログウィンドウの表示

ログウィンドウの表示と非表示を切替えます。

ログウィンドウを表示にするとメイン画面下部にログウィンドウが表示されます。

右下部にあるログウィンドウボタンのクリックでも、ログウィンドウの表示と非表示の切替えができます。



（ログウィンドウボタン）

設定

■ アプリケーション設定

E-tube Project で使用する言語の設定、E-tube Project 終了時の「終了確認」ダイアログ表示を設定します。

「アプリケーション設定」ダイアログで、各種設定を変更します。

「OK」をクリックしてアプリケーション設定を完了してください。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目	説明
言語	E-tube Project の動作言語設定を行います。 選択可能な言語は以下の通りです。 ・英語　・スペイン語 ・フランス語　・イタリア語 ・ドイツ語　・中国語 ・オランダ語　・日本語
終了確認ダイアログの表示	E-tube Project 終了時に「終了確認」ダイアログを表示するか、非表示にするかの設定を行います。

言語の変更を行うと、E-tube Project の「再起動確認」ダイアログが表示されます。

変更を反映する場合「はい」をクリックして E-tube Project を再起動してください。

「いいえ」をクリックすると E-tube Project の次回起動時に言語が変更されます。

ヘルプ

■ マニュアル参照

E-tube Project のマニュアル（本書）を表示します。

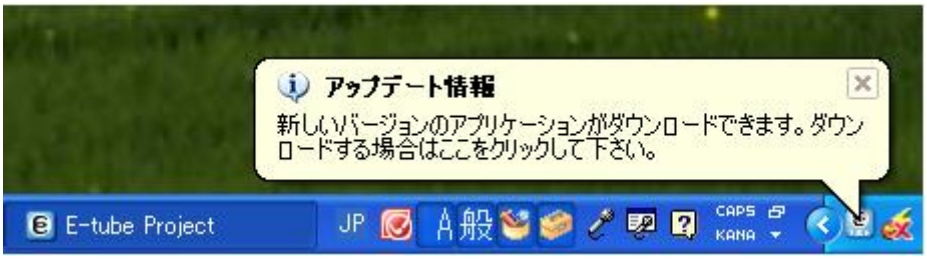
■ アプリケーションバージョンチェック

E-tube Project の最新バージョンがリリースされているかチェックを行います。

＊　チェックを行うには PC がインターネットに接続されている必要があります。

新しいバージョンがある場合、Windows のタスクトレイに通知バルーンが表示されます。

バルーンをクリックするとダウンロードサイトへ移動しますので、手順に従いアップデートを行なってください。



■ バージョン情報

現在使用中の E-tube Project のバージョンおよび使用環境を「バージョン情報」ダイアログで表示します。

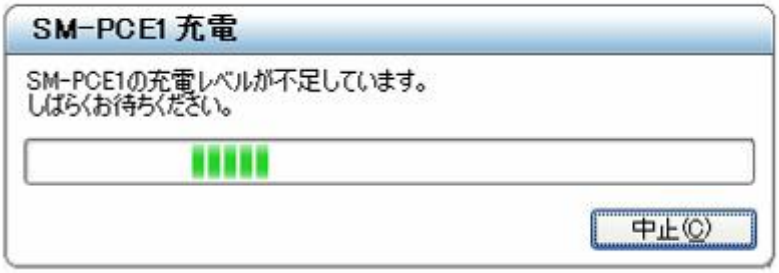
操作ウィザードウィンドウ

各ユニットのメンテナンスや故障診断を行います。

主な機能は以下のとおりです。

機能	内容
カスタマイズ	変速システムのカスタマイズを行うための機能です。 **■ シフトスイッチ機能設定** ST-6770、SW-R600 のシフトスイッチ機能を切替える機能です。 **■ リアディレイラーアジャスト設定** リアディレイラーの変速調整をする機能です。
故障診断	1 台もしくは複数台のユニットを接続し、それらの動作確認を行い、故障しているユニットを特定する機能です。 ただし、全ての故障を発見できるわけではありません。また、発見した故障を修復する機能はありません。
ファームウェアアップデート	各ユニットのファームウェアを任意のバージョンにアップデートする機能です。 （ファームウェアはインターネット経由でダウンロードします。）
初期ファームウェア書込み	ファームウェアアップデート中に誤って USB ケーブルおよびエレクトリックワイヤーを抜いてしまった場合など、ユニット内に書き込まれているファームウェアが壊れてしまい、正常に動作しなくなります。その状態のユニットに対してファームウェアを書き込み、復帰させることができる機能です。

操作ウィザードウィンドウの各機能を使用する際、SM-PCE1 は内部の充電量が十分にあるか確認をします。
(SM-PCE1 は電力を蓄えるキャパシタを内蔵しています。)
充電量が不十分な場合「SM-PCE1 充電」ダイアログが表示され、自動的に充電を開始します。この間、SM-PCE1 ユニットの LED が点滅します。[3]



バッテリーを取り外し、すぐにバッテリーを再接続した直後に E-tube Project のユニット認識を行っても認識できない場合がありますが、異常ではありません。
しばらく時間をおいてから、もう一度、ユニット認識を行ってください。

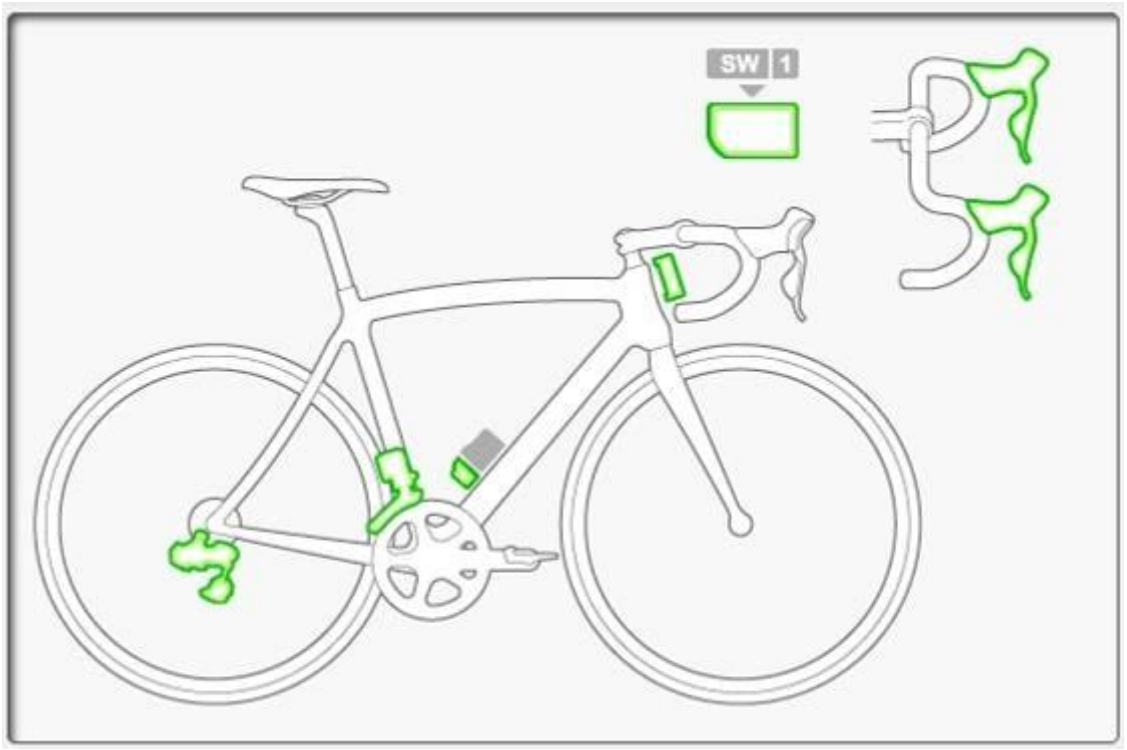
3 充電は 30 秒程度で完了します

自転車ウィンドウ

アプリケーション使用時のユニットの状態と情報を表示します。

ユニット状態

接続されているユニットの状態をグラフィック表示で通知します。



ユニットの状態表示は以下のとおりです。

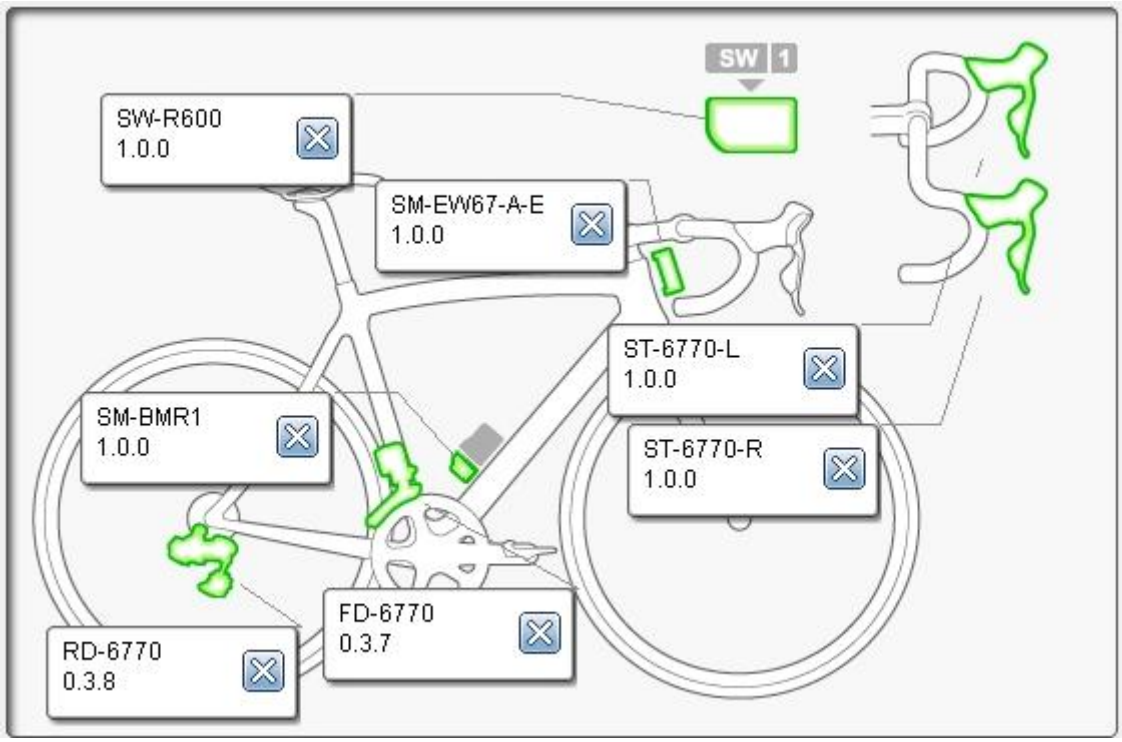
画面表示	ユニットの状態
緑枠点灯	接続状態
緑枠点滅	選択状態
緑点滅	処理中
緑点灯	処理結果:正常
赤点滅	処理結果:異常

ユニット情報

接続されているユニットの情報を吹出しで表示します。

ユニットのアイコンをクリックすると、ユニット名(モデル No)およびファームウェアバージョンを表示します。

* この情報を表示している吹出しはマウスのドラッグで移動可能です。



ログウィンドウ

E-tube Project の操作履歴や故障診断実行時の動作状況を表示する機能です。

ログウィンドウ内では以下のショートカットキーによる操作が可能です。

キーボード操作	動作
Ctrl+A	ログの全選択
Ctrl+C	選択ログのコピー
Ctrl+S	「ログファイル保存」ダイアログを開く

全てのログ

操作ログ、通信ログの両方を一覧で表示します。

ログ種別が識別できるように、操作ログおよび通信ログで設定されている文字色で表示します。

操作ログ

E-tube Project の操作履歴のみを表示します。

操作タブを選択すると、E-tube Project の操作ログメッセージを表示します。

操作ログの文字は緑色で表記します。

通信ログ

SM-PCE1 と各ユニットとの通信履歴のみを表示します。

通信タブを選択すると、SM-PCE1 と各ユニットとの通信ログメッセージを表示します。

通信ログの文字は青色で表記します。

カスタマイズ

変速システムのカスタマイズを行うための機能です。

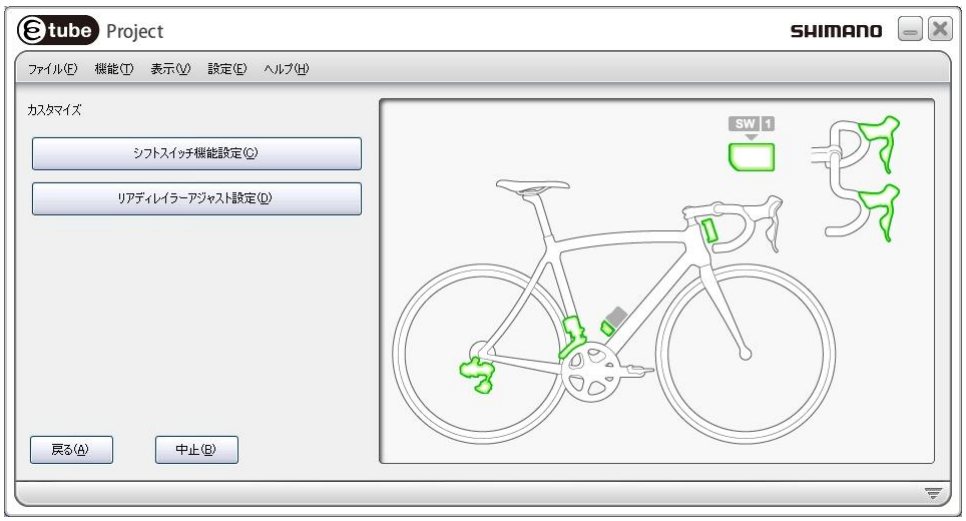
1. トップ画面の「カスタマイズ」をクリックします。
2. SM-PCE1 とユニットを接続し、ユニット接続待ち画面の「次へ」をクリックすると、カスタマイズメニュー画面へ移動します。

⚠注意

＊ **ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックした後、バッテリーおよびユニットの接続や取り外しは絶対に行わないでください。SM-PCE1 および各ユニットが故障する可能性があります。**

（ユニット接続待ち画面）

3. カスタマイズメニュー画面から、「シフトスイッチ機能設定」あるいは「リアディレイラーアジャスト設定」をクリックして各設定画面へ移動します。



（カスタマイズメニュー画面）

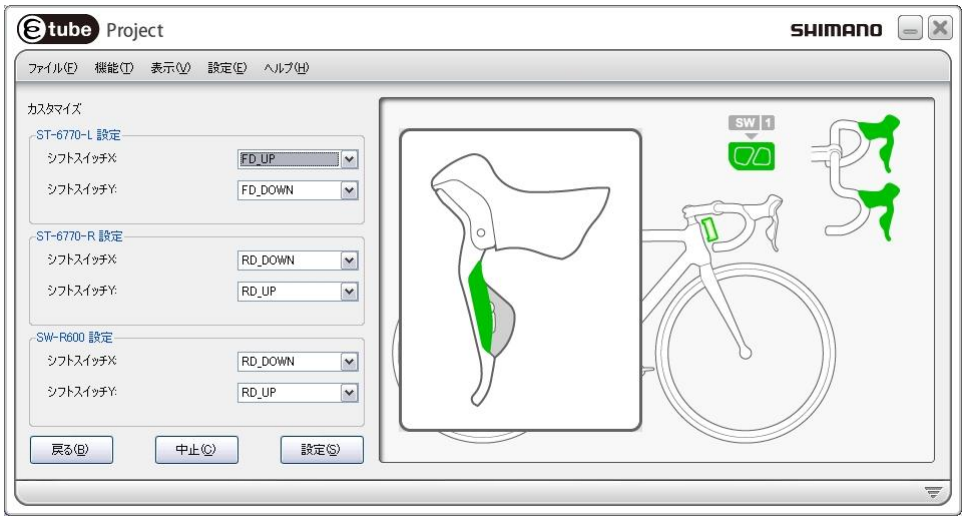
シフトスイッチ機能設定

ST-6770 および SW-R600 のシフトスイッチ機能を切替えます。

1. カスタマイズメニュー画面を表示します。(操作手順は 20 ページを参照してください。)
2. カスタマイズメニュー画面の「シフトスイッチ機能設定」をクリックします。
3. シフトスイッチ機能設定画面に表示されている、各シフトスイッチのプルダウンメニューから任意の機能を選択し「設定」をクリックしてください。

選択できる機能は以下のとおりです。

プルダウンメニュー	説明
FD_UP	フロントディレイラーが小ギアから大ギアへ変速します。
FD_DOWN	フロントディレイラーが大ギアから小ギアへ変速します。
RD_UP	リアディレイラーが大ギアから小ギアへ変速します。
RD_DOWN	リアディレイラーが小ギアから大ギアへ変速します。



(シフトスイッチ機能設定画面)

リアディレイラーアジャスト設定

リアディレイラーの調整ができます。

1. カスタマイズメニュー画面を表示します。(操作手順は 20 ページを参照してください。)
2. カスタマイズメニュー画面の「リアディレイラーアジャスト設定」をクリックします。
3. リアディレイラーアジャスト設定画面の「リアディレイラーの調整方法」をクリックすると、別ウィンドウに詳しい調整方法が表示されます。
4. 画面の指示に従い調整を行い、「設定」をクリックしてください。

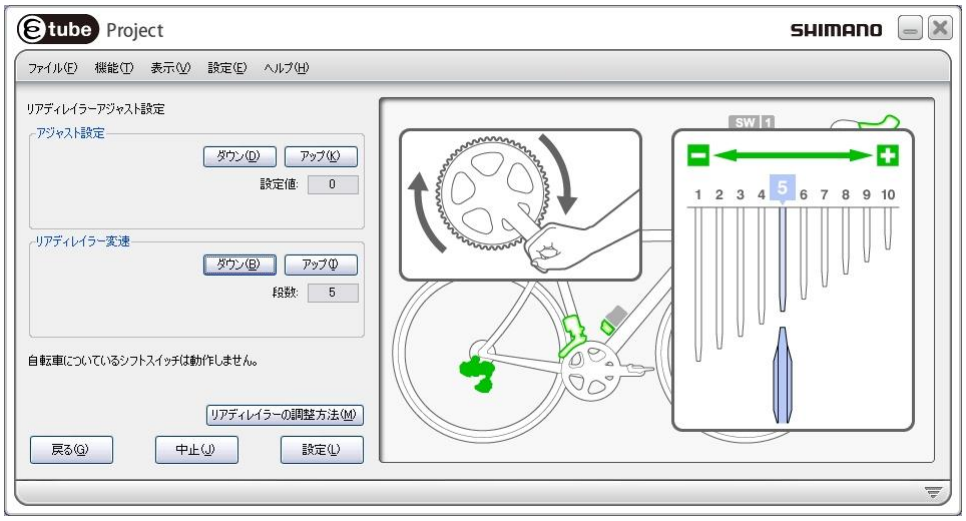
* この作業中、ST-6770 および SW-R600 のシフトスイッチを操作してもフロントディレイラーおよびリアディレイラーは動作しません。

* 調整および変速に関係する操作はクランクを回しながら行ってください。

調整のための機能は以下のとおりです。

ラベル	ボタン	説明
アジャスト設定	ダウン(-)	ガイドプーリーが内側(-表示方向)へ移動します。
	アップ(+)	ガイドプーリーが外側(+表示方向)へ移動します。
	設定値	現在の設定値が表示されます。(-15 -- 15)
リアディレイラー変速	ダウン(-)	ギアが小ギアから大ギア(-表示方向)へ変速します。
	アップ(+)	ギアが大ギアから小ギア(+表示方向)へ変速します。
	段数	現在のギア段数が表示されます。(1 -- 10)

* リアディレイラー変速操作時に、アジャストボルト判定画面が表示されることがあります。
この場合画面の指示に従い、アジャストボルトの調整を行ってください。

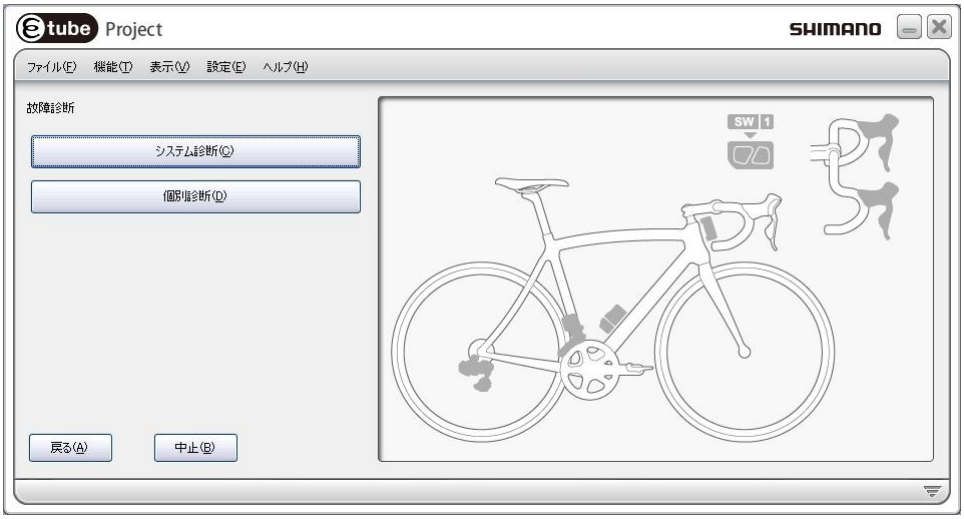


(リアディレイラーアジャスト設定画面)

故障診断

1 台もしくは複数台のユニットを接続して診断を行い、故障しているユニットを特定する機能です。

故障診断を開始するには、トップ画面の「故障診断」をクリックし、故障診断画面へ移動します。

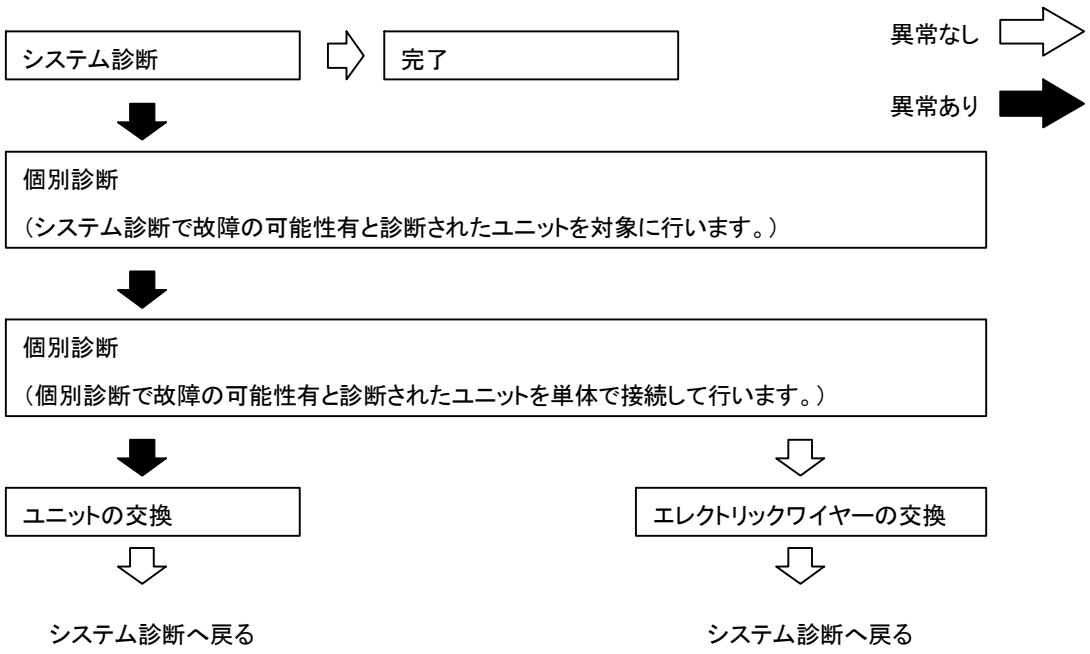


（故障診断画面）

故障診断の流れ

故障診断は、まず接続されている全てのユニットを診断する「システム診断」から行います。

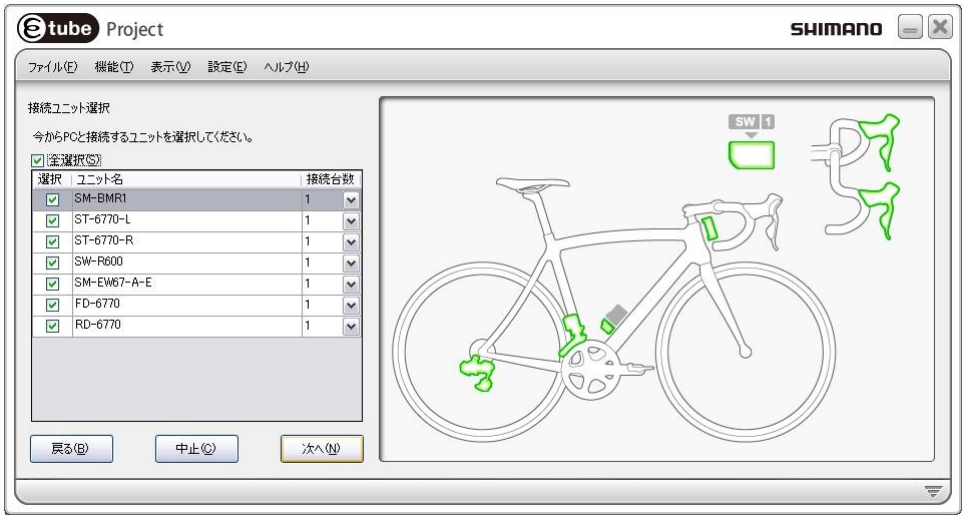
システム診断の結果、故障の可能性有と判断されたユニットは、故障ユニットを確定させるために、最終的に SM-PCE1へ単体で接続し、「個別診断」を行います。



システム診断

1. 故障診断画面を表示します。(操作手順は 23 ページを参照してください。)
2. 故障診断画面の「システム診断」をクリックします。
3. 接続ユニット選択画面で、接続されているユニットと接続台数を選択し「次へ」をクリックします。

＊ 自転車ウィンドウにあるユニットのアイコンをクリックしてもユニット選択と接続台数の選択が可能です。



(接続ユニット選択画面)

4. SM-PCE1 とユニットを接続し、ユニット接続待ち画面の「次へ」をクリックします。

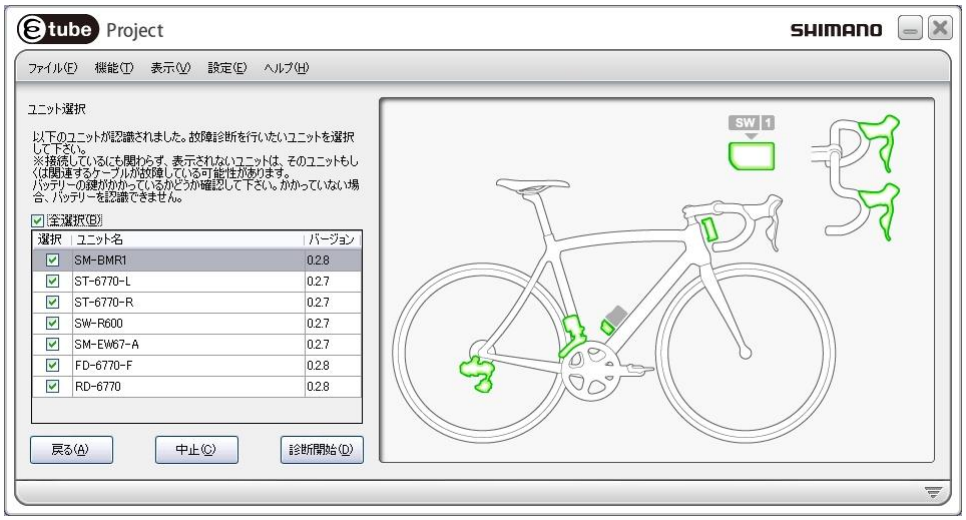
⚠注意

＊ **ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックした後、バッテリーおよびユニットの接続や取り外しは絶対に行わないでください。SM-PCE1 および各ユニットが故障する可能性があります。**

(ユニット接続待ち画面)

* このとき、手順 3 で選択したユニットおよび接続台数より、認識したユニットが少ない場合、接続エラー画面が表示されます。接続の確認や初期ファームウェア書込みを行っても改善されない場合、ユニットあるいはエレクトリックワイヤーに故障の可能性があります。

5. ユニット選択画面で、システム診断を行うユニットを選択し「診断開始」をクリックするとシステム診断を開始します。システム診断を開始すると、選択されているユニットごとに対して順に診断を行います。



（ユニット選択画面）

6. システム診断中は画面の指示に従い診断を行ってください。

* 「スキップ」をクリックすることで、診断中のユニットの診断をスキップすることが可能です。

* フロントディレイラーおよびリアディレイラーの診断は、画面の指示に従い、クランクを回しながら行ってください。

* リアディレイラー診断時に、アジャストボルト判定画面が表示されることがあります。
この場合画面の指示に従い、アジャストボルトの調整を行ってください。

画面に表示される各ユニットの診断状態は以下のとおりです。

診断状態	説明
診断待ち	診断を開始していないユニット
診断中…	診断中のユニット
スキップ	診断をスキップしたユニット
正常	診断の結果、正常だったユニット
故障の可能性有	診断の結果、故障の可能性があるユニット

7. 全てのユニットが正常な場合は故障診断完了です。
システム診断の結果、「故障の可能性有」と診断されたユニットがあった場合、個別診断を行ってください。

個別診断

1. 故障診断画面を表示します。(操作手順は 23 ページを参照してください。)
2. 故障診断画面の「個別診断」をクリックします。
3. SM-PCE1 とユニットを接続し、ユニット接続待ち画面の「次へ」をクリックすると、ユニット選択画面へ移動します。

⚠注意

* **ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックした後、バッテリーおよびユニットの接続や取り外しは絶対に行わないでください。SM-PCE1 および各ユニットが故障する可能性があります。**

(ユニット接続待ち画面)

4. ユニット選択画面で、個別診断を行うユニットを選択し「診断開始」をクリックすると個別診断を開始します。

* 自転車ウィンドウにあるユニットのアイコンをクリックしてもユニット選択が可能です。

(ユニット選択画面)

5. 個別診断中は画面の指示に従い診断を行ってください。

   * 「スキップ」をクリックすることで、診断中のユニットの診断をスキップすることが可能です。

   * フロントディレイラーおよびリアディレイラーの診断は、画面の指示に従い、クランクを回しながら行ってください。

6. ユニットが正常な場合は故障診断完了です。

ファームウェアアップデート

ユニットのファームウェアを任意のバージョンにアップデートする機能です。

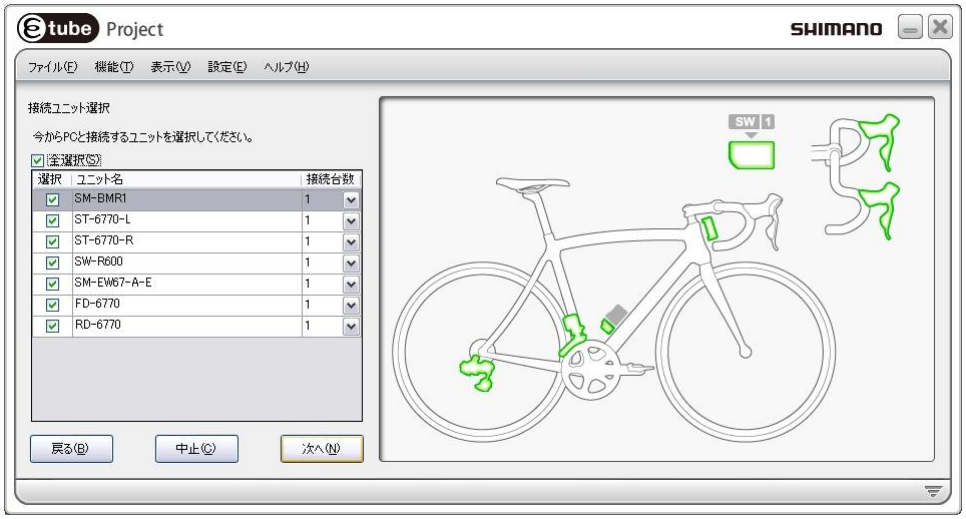
＊　ファームウェアはインターネット経由でダウンロードします。

1. ファームウェアアップデートを開始するには、トップ画面の「ファームウェアアップデート」をクリックします。

＊　SM-BMR1 のファームウェアアップデートは、バッテリーを取り外した状態でしか行うことができません。

2. 接続ユニット選択画面で、接続されているユニットと接続台数を選択し「次へ」をクリックします。

＊　自転車ウィンドウにあるユニットのアイコンをクリックしてもユニット選択と接続台数の選択が可能です。



（接続ユニット選択画面）

3. SM-PCE1 とユニットを接続し、ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックします。

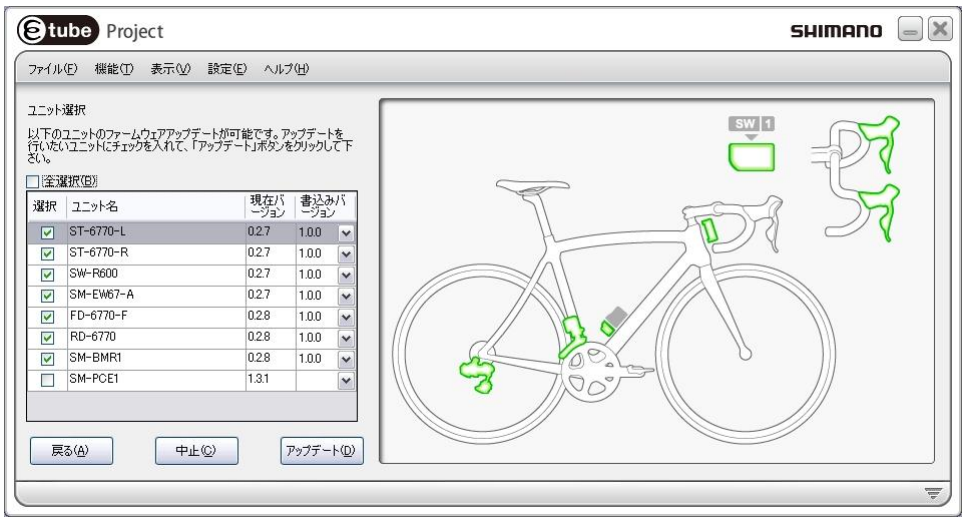
⚠注意

＊ **ユニット接続待ち画面で「次へ」をクリックした後、バッテリーおよびユニットの接続や取り外しは絶対に行わないでください。SM-PCE1 および各ユニットが故障する可能性があります。**

（ユニット接続待ち画面）

＊ このとき、手順 2 で選択したユニットおよび接続台数と、認識したユニットが一致しない場合、接続エラー画面が表示されます。接続の確認を行っても改善されない場合、故障の可能性がありますので、23 ページの「故障診断」を行ってください。

4. ユニット選択画面で、ファームウェアアップデートを行うユニットと書き込みバージョンを選択し「アップデート」をクリックすると、ファームウェアアップデートを開始します。



（ユニット選択画面）

＊ ファームウェアアップデート中に PC がスタンバイ状態にならないようにしてください。
PC がスタンバイ状態になると、E-tube Project の処理は中断され、トップ画面に戻ります。

* ファームウェアアップデート中は、USB ケーブルおよびエレクトリックワイヤーを抜いたり、バッテリーを取り外したり、また PC の電源を落としたりしないでください。
* バッテリーを接続してファームウェアアップデートを行う場合、ファームウェアアップデート中にバッテリー残量がなくならないよう、バッテリー残量が十分な状態で行ってください。
* 「中止」ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデートを中止します。ただし、更新中のファームウェアの更新が完了するまで中止されません。
* ファームウェアアップデート中はアプリケーションを終了することができません。

画面に表示されるアップデートの状態は以下の通りです。

アップデート状態	説明
更新待ち	更新を開始していないユニット
更新中...	更新中のユニット
正常終了	更新が終了したユニット

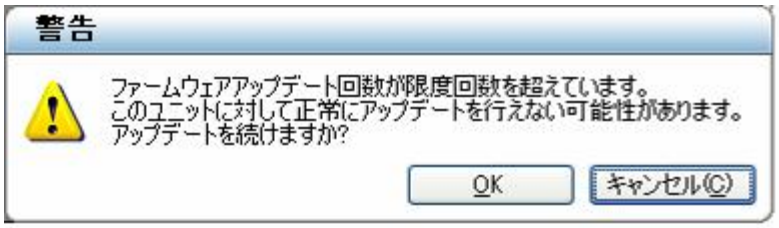
5. ファームウェアアップデートが完了するとファームウェアアップデート完了画面が表示され、アップデートしたユニット名とファームウェアバージョンが表示されます。
6. バッテリーを接続した状態でファームウェアアップデートを行った場合、ファームウェアアップデート完了後、必ず一度バッテリーを取り外してから自転車を御使用ください。一度もバッテリーを取り外さずに御使用された場合、正常に動作しません。

ファームウェアアップデートが失敗した場合

ファームウェアアップデートに失敗した場合はエラー画面が表示されます。
ファームウェアアップデートに失敗した状態のユニットは正常に動作しない可能性があります。必ずファームウェアアップデートを再実行してください。

ファームウェアアップデート回数の上限

ファームウェアアップデートは単一のユニットに対して 1000 回以上行うと正常に更新できない可能性があるため、「警告」ダイアログが表示されます。



警告が出た場合、各国の代理店もしくは完成車メーカーにお問い合わせください。

初期ファームウェア書込み

ユニットに書込まれているファームウェアが壊れ、正常に動作しなくなった場合に、復帰させる機能です。

1. 初期ファームウェア書込みを開始するには、トップ画面の「初期ファームウェア書込み」をクリックします。

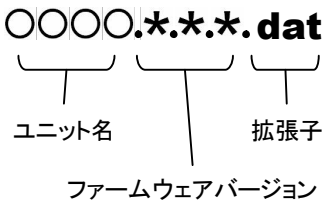
   * 初期ファームウェア書込みを行う場合、ユニットを単体で SM-PCE1 に接続してください。

   * SM-BMR1 の初期ファームウェア書込みは、バッテリーを取り外した状態でしか行うことができません。

2. ファームウェア選択画面で、ファイル参照ボタンをクリックし、書込むファームウェアを選択します。

（ファームウェア選択画面）

ファームウェアファイル名の構成内容は以下のとおりです。



ファイル名	対応ユニット
ST6770.*.*.*.dat	ST-6770-L / ST-6770-R
SWR600.*.*.*.dat	SW-R600
FD6770.*.*.*.dat	FD-6770
RD6770.*.*.*.dat	RD-6770
BMR1.*.*.*.dat	SM-BMR1
EW67A.*.*.*.dat	SM-EW67-A-E
PCE1.*.*.*.dat	SM-PCE1

⚠注意

* **ファームウェアファイルの中身やファイル名などの変更は絶対に行わないでください。ファームウェアアップデートを行うことができなくなったり、ファームウェアアップデートを行った後にそのユニットが故障してしまう可能性があります。**

3. ファームウェアのバージョンを確認し「次へ」をクリックすると、初期ファームウェアの書込みを開始します。

* 初期ファームウェア書込み中に PC がスタンバイ状態にならないようにしてください。
  PC がスタンバイ状態になると、E-tube Project の処理は中断され、トップ画面に戻ります。

* 初期ファームウェア書込み中は、USB ケーブルおよびエレクトリックワイヤーを抜いたり、PC の電源を落としたりしないでください。

4. 初期ファームウェア書込みが完了するとファームウェア書込み完了画面が表示され、ユニット名とファームウェアバージョンが表示されます。

* 初期ファームウェア書込みに失敗した場合は、ファームウェア書込みエラー画面が表示されますので再度初期ファームウェア書込みを行ってください。

このドキュメントについて

このドキュメントに記載されている内容は、将来予告なしに変更する可能性があります。

このドキュメントのいかなる部分も、株式会社シマノの書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

株式会社シマノは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他無体財産権を有する場合があります。別途規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

登録商標および商標について

SHIMANO は株式会社シマノの日本国およびその他の国における商標または登録商標です。
E-tube Project は、株式会社シマノの日本国およびその他の国における商標です。

Microsoft®、Windows® XP、Windows Vista™、Windows® 7 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他すべての社名、商品名、サービス名等は各社が所有しています。

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。(Japanese)